

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画推進に係る事業)

平成28年 1月19日

協議会名:河内長野市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画推進事業)

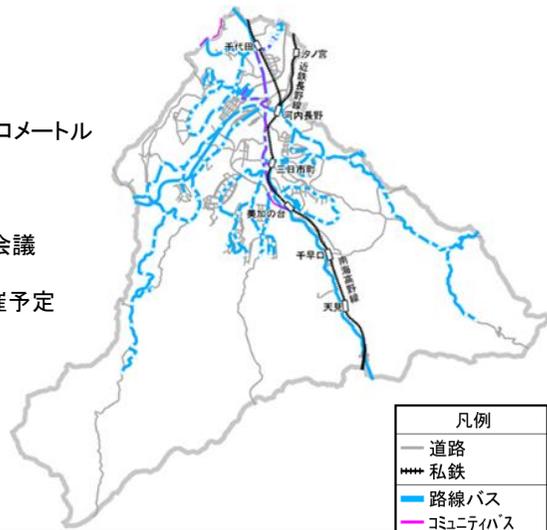
①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③事業の今後の改善点 (特記事項含む)
<p>【総合時刻表入りバスマップ等の作成・配布】</p> <p>・路線マップのほか、バス・鉄道の時刻表や乗り場案内等の情報を掲載した市内公共交通の総合案内冊子を50,000部作成し、全戸配布をし利用促進を図る予定。</p>	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施される見込み	今後も引き続き、更なる利用促進に繋がるよう、交通会議での議論も踏まえながら、内容の充実を図っていく。
<p>【企画乗車券の周知・広報】</p> <p>バス利用促進を目的とした企画乗車券(モックルカード・ワイドモックルカード)の広報のため、乗車有効区間を示したマップや、沿線の観光施設等でカードを提示した場合に有効な割引情報等を記載したチラシ・ポスター等を作成・配布し、利用促進やまちの活性化を図る予定。チラシ30,000部、ポスター200枚</p>	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施される見込み	より多くの人にバスを利用してもらえるよう、企画乗車券(モックルカード・ワイドモックルカード)提示者への特典協力をしてくれる施設や店舗の拡充を図るほか、販売先のPRを行っていく。
<p>【地域におけるワークショップの開催】</p> <p>公共交通不便地域である桐ヶ丘地域を対象に、自治会の勉強会に講師を招へいし、新たな公共交通導入に向けた意識醸成をする予定であるが現在未実施。</p>	B	事業が計画に位置付けられた目標を達成できない見込み(講師招へいまで至らない予定)理由として、地域の声を考慮し時期を先に見送ったため(勉強会の方向性がもう少し決まっただけ)からにしてほしいとの声があがったためだが、来年度は実施する予定)	持続可能な地域の公共交通の確保は、地域の未来や活力のためにも有効であるということ、根気強く周知することに努め、地域住民の意識の醸成を図れるよう、今後も引き続き勉強会に参加する。但し、地域全体への周知や意識醸成のためにはもう少し時間が必要という意見が大半であったため、焦らず時間をかけて気運を盛り上げていくよう努力する。
<p>【モビリティマネジメントの実施】</p> <p>・公共交通不便地域である桐ヶ丘地域の住民を対象に、新たな公共交通の導入する意識醸成を目的として、楠ヶ丘乗合タクシー(くすまる)の体験乗車を実施。</p>	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された	体験乗車及び先進地域との意見交換会が刺激となり、新たな地域公共交通の導入のためには、地域が主体的に取り組む必要があるという意識の芽生えが見られた。また行政主導ではなく地域自らの希望として、今後も勉強会を継続開催していくことになった。一方で、課題の多さに不安を感じておられる方も多いため、今後も地域とともに1つ1つ課題を解決しているよう、情報提供や関係機関の連絡調整等の支援をしていく。また、公共交通空白不便地域解消の取り組みとして、他地域への拡充も図れるよう併せて取り組んでいく。

### 計画推進事業の概要

- 計画推進事業の実施経緯
  - ・平成27年度に策定された「地域公共交通網形成計画」に基づき、地域公共交通の維持確保を目的とした利用促進のための事業など実施。
- 計画推進事業に際しての定量的目標
  - ・公共交通サービスへの不満足度 43.7%⇒40%
  - ・バス年間利用者数 100⇒100
- 計画推進事業を行うエリアの地域特性、公共交通の概要、問題点
  - ・公共交通利用者数の減少
  - ・公共交通空白・不便地域の存在
- 事業内容・事業結果
  - ・総合時刻表入りバスマップ等の作成・配布(実施見込み)
  - ・企画乗車券の周知・広報(実施見込み)
  - ・地域におけるワークショップの開催(実施時期を延期)
  - ・モビリティマネジメントの実施(実施)

### 参考資料

- ・河内長野市の概要
  - 【人口】 109,545人
  - 【面積】 109.61平方キロメートル
  - 【高齢化率】 30.8 %
  - (平成27年12月末)
- ・河内長野市地域公共交通会議開催状況
  - 【平成27年度】 3回開催予定



【河内長野市の公共交通網】

### 具体的取り組みに対する評価

- 公共交通利用促進の取り組みに対する評価
  - ・バス路線の認知度向上や利用機会の拡大に繋がる取り組みとして、「河内長野市総合時刻表入りバスマップ」、「企画乗車券等PRポスター・チラシ」を作成し、総合時刻表入りバスマップについては、全戸配布を、PRポスター・チラシについては駅、観光案内所、観光施設、公共施設などに配布予定。
  - ・乗合タクシー実施地域の楠ヶ丘の「くすまる」について、公共交通不便地域である楠ヶ丘地域の方に体験乗車いただくことにより、地域での乗合タクシーの試行運行に向けた自発的な行動を促す機会づくりに努めた。

### 評価から得られた課題、対応

- 実施事業の今後の対応
  - ・「総合時刻表入りバスマップ」については、市民向けに自宅に末永く置いていただけるよう工夫した冊子であるが、今後更なる利用に繋がるよう、交通会議での議論も踏まえながら、内容の充実を図っていく。
  - ・企画乗車券等PRポスター・チラシについては、特典協力をしていただける施設や店舗の充実を図っていく。
  - ・モビリティマネジメントとして実施した公共交通の体験乗車については、好評価で「行政任せではなく地域主体で取り組む意識」や「勉強会の継続実施に向けた意欲」の芽生えが見受けられた。一方で、地域主体の公共交通を導入することについて不安を感じておられる部分も多く、今後のワークショップでは不安解消のため情報収集や提供に努め、引き続き支援をしていく。

### アピールポイント(特に工夫した点)

- 「河内長野市総合時刻表入りバスマップ」
  - ・過去に作成した「バスに特化したマップ」ではなく、電車やタクシーといった公共交通全般の情報を掲載することにより、多くの方に今以上に利用してもらおうきっかけになるよう配慮していく。
- 「企画乗車券等PRポスター・チラシ」
  - ・昨年度より路線バス利用者への特典協力をしてくれる施設や店舗を増やす予定。
- 「モビリティマネジメント」
  - ・地域の新たな公共交通の導入に向けた意識醸成を目的に、体験乗車を実施した際、先進地域との意見交換会も併せて開催したが、それが刺激となり地域に主体性や意欲の芽生えが見受けられた。

### 形成計画への影響

形成計画に掲げている目標の1つとして「将来のまちづくりを支えるための公共交通サービスの提供」があり、その中において「バスマップの作成・配布」「観光資源と路線バスを活用した取り組みの実施」「モデル的な取り組みの他地域への啓発」「地域に合った公共交通の試行運行を検討」といった事業を実施または実施する見込みとなった。